

1. 事業報告書

令和 7 年度 事業実施状況報告

はじめに

令和 8 年 1 月現在の東京都の総人口は 1,407 万人で、対前年同月比で 75,018 人増加。65 歳以上の高齢者は、315 万人で、対前年同月比で 10,592 人増加。高齢化率は 22.4%となっています。

日野市においては、令和 8 年 1 月現在の総人口が 189,194 人で、対前年同月比で 717 人増加。65 歳以上の高齢者は、46,750 人で、対前年同月比で 110 人増加。高齢化率は 24.7%となっています。

このように総人口、高齢者共に増加している中、シルバー人材センター事業は、高齢者の就業機会の提供を通じて、高齢者の生きがいの創出や健康の増進、地域の活性化に寄与するとともに、少子高齢化に伴う労働力不足を補完し、現役世代の下支えとしての役割が益々期待されています。

一方で、物価上昇による受注への影響や、企業での雇用期間の延長が益々進む中、センターを取り巻く環境は、依然厳しい状況となっています。

このような中、令和 7 年度末会員数は、男性、女性ともに令和 6 年度末を上回る結果となりました。男性会員は令和 6 年度末より 41 人増加し、女性会員は令和 6 年度末より 45 人増加し、計 1,750 人となり令和 2 年度末より 5 年連続で増加。さらに、過去最高でありました平成 22 年の 1,733 人を上回り最高実績を更新しました。

令和 7 年度のセンター契約実績は、請負・派遣の合計で 8 億 3,319 万 9,722 円と、2 年連続で最高実績を更新しました。

内訳としては、請負契約は 7 億 1,899 万 3,414 円、令和 6 年度比で 9.4%増となりました。一方、労働者派遣契約は 1 億 1,420 万 6,308 円、令和 6 年度比で 6.1%減となりました。

就業開拓では、令和 6 年度末に導入した「トライアル就業制度」の効果もあり事務補助や保育補助、環境整備をはじめとする幅広い分野で新規開拓をすることができました。

また、アンケート業務の規模を拡大し、市内 4 つの大学からアンケート業務を受注し、モニター業務と合わせて延べ 600 人の多くの会員の就業に繋げました。

いきいきカルチャー教室は、29 種類の教室を開講し、280 人の市民の方に受講していただくことができました。

新規事業として、1 月に「ストップフレイル!いきいき体操教室」を開講し、87 人の市民の方に受講していただくことができました。このフレイル予防教室は、東京都内のシルバー人材センターで当センターが初めて事業化をしました。

PR 活動では、京王線高幡不動駅改札前の電飾看板をリニューアル設置し、センターのイメージアップに努めました。年 2 回のいきいきカルチャー教室の受講者募集パンフレットと併せ、会員募集チラシと家庭向け総合サービス事業のチラシを市内に全戸配布し、会員増強及び家庭向けの仕事の開拓を図りました。

また、「まちづくり市民フェア」や「日野市産業まつり」に出展し、「シルバー知っ得!ガイド(センター広報誌)」などを配布し、センターの認知度向上に努めました。第 3 回を迎えたシルバーいきいき祭り(10 月)では、会員の交流とセンターの PR 活動を行うことができました。

さらに、「広報ひの」10 月号に見開き 2 ページにわたり当センターの会員の働き方と生きがい、潜在会員の獲得を主とした紹介記事が掲載され、多くの市民の方に PR することができました。

L I N E (ライン) 公式アカウントへの登録者数は、令和 6 年度末の 1,500 人から令和 7 年度末は 1,750 人を超え、就業情報だけではなく安全や研修案内等の会員への情報伝達手段として、利用する会員の便利ツールとして欠かせないものとなりました。

安全就業では、体力・健康度チェック会の内容を充実し、新たに、筋トレ、脳トレ、ストレッチを追加、会員の健康管理や安全就業への意識啓発を推進しました。また、熱中症対策として、空冷ファンベストなどへ助成をおこない、74 名が利用しました。

1 会員数の状況

会員数は、第 8 次中期計画(終了年度:令和 8 年度)で定めた目標 1,700 人のところ、令和 7 年度末は、前年度末比で 86 人増加の 1,750 人となり、令和 2 年度から 5 年連続の増加となっています。入会者数は令和 6 年度より 21 人増え 271 人でした。一方、退会者は令和 6 年度より 26 人減り 185 人でした。会員の平均年齢は、0.2 歳上昇して 74.8 歳となりました。

令和4年度に初めて500人に達した女性会員は、順調に会員数を増やし622人となりました。

年度内の労働者派遣事業を含む就業実人員は1,327人で、令和6年度より63人増となりました。就業率は75.8%（令和6年度75.9%）で0.1ポイントの減少となりました。

表-1 男女別会員状況

	会員数	構成比	平均年齢	最高年齢	就業実人員	就業率
男	1,128人	64.5%	75.7歳	100歳	865人	76.6%
女	622人	35.5%	73.3歳	90歳	462人	74.2%
計	1,750人	100.0%	74.8歳	—	1,327人	75.8%

表-2 会員数、就業実人員の推移（派遣事業を含む）

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
会員数（人）	1,750	1,664	1,616	1,587	1,534
就業実人員（人）	1,327	1,264	1,259	1,307	1,262
就業率（%）	75.8	75.9	77.9	82.3	82.3

表-3 月別入退会状況と会員数

（単位：人）

月別	入会者			退会者			会員数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月	29	25	54	9	5	14	1,107	597	1,704
5月	14	9	23	3	1	4	1,118	605	1,723
6月	11	3	14	5	4	9	1,124	604	1,728
7月	9	15	24	3	1	4	1,130	618	1,748
8月	11	10	21	0	1	1	1,141	627	1,768
9月	11	3	14	10	3	13	1,142	627	1,769
10月	17	11	28	5	5	10	1,154	633	1,787
11月	11	13	24	4	6	10	1,161	640	1,801
12月	14	9	23	14	6	20	1,161	643	1,804
1月	9	5	14	16	6	22	1,154	642	1,796
2月	11	10	21	7	13	20	1,158	639	1,797
3月	6	5	11	36	22	58	1,128	622	1,750
合計	153	118	271	112	73	185			

表-4 年齢別入会者の構成

(単位：人)

	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～90歳	90歳以上	計	平均年齢
男	18	47	45	30	9	2	2	153	71.5歳
女	22	32	35	26	2	1	0	118	70.5歳
計	40	79	80	56	11	3	2	271	71.1歳
構成比	14.8%	29.2%	29.5%	20.7%	4.1%	1.1%	0.7%	100%	

表-5 退会理由別会員数

(単位：人)

	病気	他で就職	死亡	転居	希望する仕事がない	就業機会なし	家庭の事情	会費未納	加齢	センター運営への不満	未回答(不明)	その他	合計
男	33	11	11	5	6	3	3	10	19	0	2	9	112
女	13	15	6	1	11	1	9	2	6	0	3	6	73
計	46	26	17	6	17	4	12	12	25	0	5	15	185

表-6 在籍期間会員数

(単位：人)

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上 6年未満	6年以上 8年未満	8年以上 10年未満	10年以上	合計
男	144	128	203	132	118	108	295	1,128
女	107	80	146	82	51	56	100	622
計	251	208	349	214	169	164	395	1,750

表-7 会員の年齢分布

(単位：人)

	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～90歳	90歳以上	計	平均年齢
男	38	143	338	340	202	57	10	1,128	75.7歳
女	51	127	186	193	49	15	1	622	73.3歳
計	89	270	524	533	251	72	11	1,750	74.8歳
構成比	5.1%	15.4%	29.9%	30.5%	14.3%	4.1%	0.6%	100%	

2 事業実績

令和7年度の労働者派遣事業を含む事業実績は、受託件数7,668件で令和6年度より248件(3.2%)減少しました。契約金額は、833,199,722円で令和6年度より54,738,533円(7.0%)増加しました。

公共事業では、日野市長選挙等選挙関連の仕事(選挙公報配布、投票所開閉)が増加したこと、新たに中央公民館分室受付管理業務や東京都住宅供給公社からの大規模集合住宅清掃業務などを獲得し令和6年度より10.8%増加しました。

民間企業等においては、事務、P C入力、建物管理、環境整備、保育補助などを新規に開拓し、令和 6 年度より 6.5%増加しました。

家庭からの仕事に関しては、夏季の熱中症対策として植木班や除草班の受注制限を実施した影響もあり令和 6 年度より 1.7%減少しました。

独自事業では、いきいきカルチャー教室が 600 万円の実績(令和 6 年度より 80 万円増加)となりました。また、リサイクル事業では、引き続きセールの開催や無料コーナーの設置など売上と来客数を増やす工夫をしたことや、ジモティースポットを併設していることによる相乗効果で来客数が増加し、令和 6 年度より売り上げが 210 万円増加し、2 年連続で 200 万円以上の増加となりました。

令和 7 年度における労働者派遣事業を含む契約金額の公民比率は、公共事業が 369,127,733 円で 44.3%(令和 6 年度 42.8%)、民間事業が 464,071,989 円で 57.7%(令和 6 年度 57.2%)となりました。

表-8 事業実績（派遣事業を含む）

		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
就業実人員		1,327人	1,264人	1,259人	1,307人	1,262人
就 業 率		75.8%	75.9%	77.9%	82.3%	82.3%
就業延べ人員		135,924人	133,511人	133,422人	136,869人	134,164人
受 注 件 数		7,668件	7,916件	8,062件	8,169件	7,928件
契約金額	配分金	542,489,987円	501,424,702円	487,231,153円	492,398,453円	469,371,946円
	材料費	33,056,893円	30,093,891円	26,839,309円	24,989,563円	22,059,432円
	事務費	143,446,534円	125,341,558円	68,196,008円	54,452,587円	47,638,818円
	合 計	718,993,414円	656,860,151円	582,266,470円	571,840,603円	539,070,196円
	派遣事業	114,206,308円	121,601,038円	116,589,797円	108,863,545円	94,003,285円
	総合計	833,199,722円	778,461,189円	698,856,267円	680,704,148円	633,073,481円

表-9 契約金額／公共・民間別内訳（派遣事業を含む）

（単位：円）

		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
公 共		369,127,733	333,066,460	230,828,719	237,480,788	213,659,894
民 間	企業等	301,632,123	282,986,927	315,840,709	297,525,594	285,635,961
	家 庭	137,705,656	140,016,997	132,059,248	127,177,706	120,897,137
	独 自	24,734,210	22,390,805	20,127,591	18,520,060	12,880,489
	小 計	464,071,989	445,394,729	468,027,548	443,223,360	419,413,587
計		833,199,722	778,461,189	698,856,267	680,704,148	633,073,481
構成比	公 共	44.3%	42.8%	33.0%	34.9%	33.7%
	民 間	55.7%	57.2%	67.0%	65.1%	66.3%

3 事業計画に対する実施状況

(1) 基本理念の理解、浸透と組織の発展・強化

新規入会者が「自主・自立」の組織理念と、「共働・共助」の事業理念という二つの基本理念の理解を深めるため、新入会員研修において、新たに「接遇・ハラスメント」の意識向上に取り組みました。

東京都のカスタマー・ハラスメント防止条例の施行に伴い、施設案内管理就業者向けに「接遇・ハラスメント研修(38名が受講)」を実施し、「接遇・ハラスメント意識」の重要性に取り組み始めました。

新入会員研修テキストについて、主に、請負・派遣と労災保険の説明及びイラストと写真の見直しを行いました。

令和4年度より開始した、在籍3年以上の会員を対象とした在籍会員研修(208人参加)では、センターと会員が一体となって事業を進めていくため、センター理念の浸透や安全就業の高揚を図りました。

(2) 就業機会の拡大と提供

①新規開拓と新規事業の拡大

令和6年度に引き続き、就業開拓専門員を3人配置し、民間企業を中心に新規開拓や既存顧客への受注拡大の営業活動に取り組みました。特に、事務、PC入力、建物管理、環境整備、保育補助などの新規開拓を達成しました。

インターネットリテラシーに関するアンケート業務や認知・情動機能の縦断的研究モニターなど多くのアンケートやモニター業務を市内4つの大学から開拓することができ、延べ600人が就業しました。

公共請負事業では、令和7年度から新たに、中央公民館分室受付管理業務や東京都住宅供給公社からの大規模集合住宅清掃業務などの仕事を開拓することができました。

また、新規開拓先として、「日野市産業まつり(11月)」におけるミニSL受付、ゴミステーション案内等の仕事を開拓し16人が就業できました。

新規事業として、1月に「ストップフレイル!いきいき体操教室」を開講し、87人の市民の方が受講されました。このフレイル予防教室は、東京都内のシルバー人材センターで当センターが初めて事業化をしました。

②東京しごと財団との協働による受注拡大

(公財)東京しごと財団の就業開拓専門員と同行営業を行い、既存保育園の保育補助(派遣)において増員を達成することができました。

③家庭向け総合サービスの拡大

A 3 判で一般家庭向けの仕事のチラシを作成し、市内の全戸に配布するセンター広報誌に挟み込んでPRを行いました。お客様が仕事のイメージをしやすいう、また利用しやすいよう内容を工夫し受注機会の拡大を図りました。

④人材派遣事業の更なる拡大

令和7年度は、地道な就業開拓の努力により新規受注や既存契約での増員を獲得できましたが、大口契約の派遣から請負への契約変更が大きく影響し令和6年度より6.1%減少しました。前年比でマイナスとなったものの令和4年度から4期連続で契約金額1億円を達成しました。

⑤職業グループ(植木、除草などの職群班)への加入促進と班の拡充

毎月の入会受付面談や新入会員研修での加入呼びかけを実施するとともに、市民向けの植木剪定・除草体験講習会を開催、17人が参加し、その内、3人が入会されました。

また、職業グループの紹介動画を作成し、ホームページに掲載し会員増強と受注拡大を図りました。今後は、各種会議や各種交流会にて活用を図っていきます。

(3) PR活動の拡充と会員増強

①PR活動の積極的な展開

令和7年度も就業開拓や会員獲得などの事業活動を円滑に進めていくため、センターの認知度を上げるよう次のようなPR活動を実施しました。

- センター広報誌の市内全戸配布(年2回)

- 「広報ひの」への有料広告の掲載

- ・新入会員の募集(7月と10月)

- ・リサイクル事務所「掘り出し市」のご案内(3月)

- 「広報ひの」に2ページにわたり当センターの会員の働き方と生きがい、潜在会員の獲得を主とした紹介特集記事が掲載（10月）
- 「日野市ホームページバナー」広告の掲載（通年）
- まちづくり市民フェア（10月）、日野市産業まつり（11月）への出店
- 高幡不動駅改札前の電飾看板をリニューアル（通年）
- 会員で組織する情報活性化プロジェクト（ITAP）の協力で、7月に、ページ数を整理統合してメニュー構成を簡素化した「新ホームページ」を開設しました。特に、スマートフォンやタブレットからの閲覧に対応したより見やすく、スムーズに操作できるよう改善が図られました。

②入会者を増やす対策の強化

8月と2月には、センター広報誌（いきいきカルチャー教室の受講生募集パンフレット）の裏表紙に会員募集の案内を載せ、市内全戸に配布しました。

入会案内説明会の参加者数は329人で、その内271人が新入会員として入会しました。

- 入会案内説明会（毎月）
- 出張入会案内説明会（6月、7月、10月、11月、1月）
- 女性限定入会案内説明会（4月、5月、8月、9月、12月、2月）
- 市民向け講習会（9月）「スキンケア&フレイル予防講座」 39人参加
- 市民向け講習会（5月、10月、3月）「植木剪定・除草体験」17人参加
- 「これからシルバー応援フェスタ（東京しごと財団主催）」（11月）

25人参加

③会員交流の促進

会員同士の気軽な交流の場として、「ほっと。サロン」を開催しました。開催ごとに珈琲豆やお菓子を変え、装飾にも工夫して充実を図った結果、延べ約1,100人の方にご利用いただきました。

女性会員の声や就業している会員との意見交換を図るため、女性会員交流会や職場グループ交流会等を開催しました。

初の企画として、2つのブロック毎の地域班長同士で交流会を開催しました。地域班長同士の交流を深めると共に、地域班運営について情報共有できる場となりました。

- 女性会員交流会（5月）尿漏れ防止&転倒予防体操 16人参加
（11月）ランチ&ジャズライブ 22人参加
- ほっと。サロンの開催（全12回） 延べ約1,100人利用
- 「笑って歌って暑気払い」（7月） 約100人参加
- 「秋のまち歩き」（11月） 15人参加
- シルバーいきいき祭りの開催（10月）
- 公園管理就業者職場グループ交流会（5月） 7人参加
- 駅前放置自転車指導・誘導・整理業務就業者
職場グループ交流会（11月） 10人参加
- A・Fブロック地域班長交流会（7月）
- D・Eブロック地域班長交流会（11月）
- B・Cブロック地域班長交流会（2月）

④退会者減少への取り組み

センターの組織活動への参加や会員として永年活躍いただいた方への感謝を伝えるため、引き続き、サンクスポイント制度や永年会員に対する表彰、会員特典としてリサイクル事務所での割引制度を実施しました。

- 役員・各種委員会委員・地域班長表彰（5人）
- 永年会員表彰（20年9人、10年48人）
- リサイクル事務所での会員割引制度を実施

（4）地域活動の充実

①社会奉仕活動の展開

地域社会との共生を図り、センターの存在をPRするため社会奉仕活動を行いました。

- ・ 新町班小学校通学路見守り（4月～3月） 参加者 482人
- ・ 多摩川・浅川クリーン作戦（4月） 参加者 456人

- ・ まちづくり市民フェア（10 月） 簡易な会場準備、パンフレット配布などのボランティア活動 参加者 13 人
- ・ 東京マラソン祭りボランティア（3 月） 参加者 3 人

②市内美化運動

公益法人の大きな役割として実施している市内美化のための清掃活動を 10 月に実施しました。

- ・ 全地域班一斉清掃（10 月） 参加者 534 人

③地域班組織の活性化

地域班交流会については前期・後期とも通常どおり開催することができました。新たな取り組みとして、センター事業として開始した「フレイル予防体操」を、女性委員会の協力で、おこなう取り組みも始まりました。

- ・ 地域班交流会 前期（7 月～8 月） 参加者 446 人
後期（12 月～1 月） 参加者 476 人

（5）安全就業

①事故を減らすための取り組み

安全管理委員会では、事故原因の半数を占める転倒事故の割合を減らしていくため、引き続き体力・健康度チェック会の実施に力を入れました。令和 7 年度は、従来の内容に、新たに筋トレ、脳トレ、ストレッチを加え拡充をしました。令和 7 年度は、9 回実施し 225 人が参加しました。

就業中や就業途上による事故防止のため「安全のしおり」の一部改定及び道路交通法の一部改正に向けて「自転車安全運転の心得」の改定を検討しました。

令和 6 年度の当センター事故発生状況と注意喚起を「そよかぜ 7 月号」で発信しました。

安全標語の募集では、「転倒予防と健康管理」のテーマに 68 件、「自転車事故の防止」のテーマに 61 件の応募がありました。年々応募数が増え、安全に対して関心の高まりを示しています。

熱中症対策については、啓発チラシや「夏季における就業指針」を L I N E

(ライン) とホームページで発信しました。また、屋外就業者にアイスノン極冷えタオルの配布や、空冷ファンベストの助成(74 人が利用)をするなど、暑さ、熱中症への対策を行いました。

②刈払機による飛び石事故防止のため、カルマー(刈払機)を導入

刈払機による飛び石事故が毎年発生している中、物理的に飛び石が生じにくいカルマー(刈払機)を令和7年度から導入(除草班、公園清掃、市民農園管理)した結果、飛び石事故が激減しました。

(6) デジタル化の向上とセンター事務所の整備

①デジタル化の向上

10月～1月に、Smile to Smile(毎月の配分金明細書やサンスポイントの残高が確認できるシステム)の登録説明会(68名が受講)を実施しました。

また、地域班・職業グループの「グループLINE」活用について検討しました。

②センター拠点としての駐車場の整備

令和7年度は、縦列駐車を余儀なくされていた当センター駐車場の整備を実施し、市民や会員が快適に使用できるようになりました。

[各委員会の取り組み]

○総務委員会

- ・6月に、職場リーダー4名(校舎管理(小学校)、校舎管理(中学校)、施設管理、公園清掃)と個別ミーティングを実施し、職場リーダーの業務内容と実態やグループ就業の課題を把握した。グループ就業等のガイドブック作成の検討をすることとした。
- ・7月に、総務委員会4名で、センターが実施した施設案内管理就業者向けの「接遇・ハラスメント研修を受講した。「接遇・ハラスメント意識」の重要性を会員に伝えていくため、令和8年度の新入会員研修テキスト等に盛り込むこととした。
- ・会員交流事業として、7月に「笑って歌って暑気払い」を実施し、約100人が

参加しました。

- ・会員交流事業として、11月に「秋の街歩き」を実施し、15人が参加しました。
- ・新入会員研修会において、新たに「接遇・ハラスメント」の意識向上を図る研修を実施しました。また、新入会員研修テキストについて、主に、請負・派遣と労災保険の説明及びイラストと写真の見直しを行いました。
- ・入会後3年以上の在籍会員に対して、センターの理念や安全就業についての研修を2日間で計4回実施し、208人が参加しました。

○事業委員会

- ・月次実績、就業応募状況を分析し、就業開拓先の分析を行いました。
- ・年3回(9月、10月、1月)、就業に対する会員の要望や意向の把握のため、LINE(ライン)アンケートを実施し、分析結果をホームページに掲載しました。この分析結果を基に、就業開拓先や新規職業グループの立ち上げを検討することになりました。
- ・広報委員会と連携し、職業グループの紹介動画を作成し、ホームページに掲載しました。今後は、各種会議や各種交流会にて活用を図ることになりました。
- ・職業グループ(職群班)への加入促進のため、毎月の入会受付面談や新入会員研修での呼びかけを実施しました。
- ・公園管理就業者を対象に職場グループ交流会(5月)を開催し、7人が参加しました。また、駅前放置自転車指導・誘導・整理業務就業者を対象に職場グループ交流会(11月)を開催し、10人が参加しました。

○地域委員会

- ・日野市主催の多摩川・浅川クリーン作戦(4月)に456人が参加しました。
- ・全地域班一斉清掃を10月(534人参加)に実施しました。
- ・まちづくり市民フェア(10月)で、地域委員会作成ビブスを着用し、簡易な会場準備、パンフレット配布などのボランティア活動(13人参加)を行いました。
- ・通学路パトロールのボランティア支援について検討をしました。
- ・地域班交流会を前期(446人参加)と後期(476人参加)に開催しました。
- ・5月に、新任地域班長研修会を実施しました。

- ・地域班長の任期制(任期は2年間で、再任は2回まで※最長6年間)を検討し、令和8年度から導入が決定しました。
- ・7月にA・Fブロック地域班長交流会、11月にD・Eブロック地域班長交流会、2月に、B・Cブロック地域班長交流会を開催しました。
- ・地域委員会主催、なごみ会(多摩平1班、多摩平2班、多摩平3班、日野台2班)協賛による会員作品展(絵画、写真、陶器、木彫り、パッチワークキルトなど)を企画し、令和8年4月上旬に、16人の会員から出店があり、「とよだ市民ギャラリー」にて開催されました。
- ・地域班活動の重点テーマである班長不在班の解消と、副班長設置の推進に取り組み、副班長につきましたは、3月末現在36班中19班まで設置できました。
- ・10月に開催した「シルバーいきいき祭り」に、昨年に引き続き地域委員会として「焼きそば」、地域班として「日野4班」が飲み物販売、新たに「ひふみ会(多摩平1班、多摩平2班、多摩平3班)が、唐揚げ等を出店しました。
- ・6月、10月、3月に地域班長会議を開催し、当センターの事業実施状況報告とそれに対する各地域班長の意見聴取を実施しました。

○女性委員会

- ・女性限定入会案内説明会を6回開催しました。
- ・「ほっと。サロン」を12回開催し延べ約1,100人が利用しました。
- ・女性会員交流会として、5月に「尿漏れ防止&転倒予防体操(16人が参加)」、会員交流会として、11月に「ランチ&ジャズライブ(22人が参加)」を開催しました。
- ・市民向け講習会として、9月に「スキンケア&フレイル予防講座(39人が参加)」を開催しました。
- ・「女性委員会だより」を3回(7月・12月・3月)発行しました。
- ・女性委員会委員が、当センター新規事業である「ストップフレイル!いきいき体操教室」講師としての研修を受講しました。令和8年度開催の地域班交流会にて講師を担うことが決まりました。

○安全管理委員会

- ・令和6年度の当センター事故発生状況と注意喚起を「そよかぜ7月号」で発信しました。
- ・新入会員研修と就業期限確認書交付式時に安全講話を実施するなど安全意識の拡大に努めました。
- ・「安全のしおり」の一部改定及び道路交通法の一部改正に向けて「自転車安全運転の心得」の改定を検討しました。
- ・就業現場の安全巡回を7月～9月で10か所、2月～3月で10か所実施しました。
- ・安全標語の募集については、「転倒予防と健康管理」のテーマに68件、「自転車事故の防止」のテーマに61件の応募がありました。
- ・体力・健康度チェック会を9回実施して225人が参加しました。
- ・熱中症対策についての啓発チラシや「夏季における就業指針」をLINE（ライン）とホームページで発信しました。また、屋外就業者に極冷エタオルの配布や、空冷ファンベストの助成(74人が利用)をするなど、暑さ、熱中症への対策を行いました。
- ・日野市高齢者検診の受診促進、日野市歯科無料検診の案内、スズメバチへの注意喚起、自転車賠償責任保険の加入促進、自転車安全利用五則、ヘルメット着用促進について、「そよかぜ」やLINE（ライン）等で発信しました。

○広報委員会

- ・「そよかぜ」において、新たに、生活の身近な話題やデジタル化への方策を取り上げる「新・生活ホットインフォメーション」や、写真とキャプションで見せる「フォト&トピックス」、地域班のイベントや班交流会日程を伝える「地域班伝言板」を掲載しました。また、引き続き、シルバー人材センターでよくある疑問を取り上げる「今さら聞けない素朴な疑問」や、会員の就業体験と就業を通じての会員交流の様子を寄稿する「私の就業体験」を掲載しました。
- ・10月の「広報ひの」に2ページにわたり当センターの会員の働き方と生きがい、潜在会員の獲得を主とした紹介特集記事(広報委員会にて原稿作成)が掲載されました。
- ・10月に、高幡不動駅改札前の電飾看板を改稿し、設置しました。

- ・まちづくり市民フェア（10 月）、日野市産業まつり（11 月）に出展し、「シルバー知っ得!ガイド(センター広報誌)」などを配布し、市民への P R を実施しました。なお、知っ得ガイド 4 刷の制作に取り掛かり、令和 8 年度 4 月からの入会案内説明会等で配布予定です。
- ・日野市ホームページの「バナー」「広報ひの」に広告を掲載しました。

○情報活性化プロジェクト（I T A P）

- ・7 月に、ページ数を整理統合してメニュー構成を簡素化した「新ホームページ」を開設しました。特に、スマートフォンやタブレットからの閲覧に最適化し、より見やすく、スムーズに操作できるよう改善しました。
- ・10 月～1 月に、Smile to Smile(毎月の配分金明細書やサックスポイントの残高が確認できるシステム)の登録説明会(68 名が受講)を実施しました。
- ・地域班・職業グループの「グループ LINE」活用について検討しました。

4 会議等の開催状況

(1) 定時総会

開催年月日	主な内容
第76回 令和7年6月19日（木） ひの煉瓦ホール 大ホール 会員数 1,731名 出席数 1,403名 （委任状 1,233、議決権行使書 による書面決議 4を含む）	1. 令和6年4月1日から令和7年3月31日までの計算書類等の承認の件 2. 定款一部変更の件 3. 役員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件 4. 理事10名選任の件 5. 監事2名選任の件

(2) 理事会

開催年月日	主な内容
第1回 令和7年4月28日（月）	1. 正会員の入会 2. 特別会員の入会 3. 令和6年度事業報告及び決算 4. 令和7年(第76回)定時総会招集の決定 5. 被表彰者承認 6. 定款一部変更承認 7. 役員の報酬等及び費用に関する規程一部改正承認 8. 理事10名選任議案承認 9. 監事2名選任議案承認 10. 特定費用準備資金積立 11. 除草班・搬送班 契約金額及び配分金単価の改定 12. 就業に伴うセンター車両の運転許可 13. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 14. 事業執行状況報告 15. 予算執行状況報告 16. 事故発生状況報告

開催年月日	主な内容
第2回 令和7年5月19日（月）	1. 正会員の入会 2. 定款一部変更承認 3. 職員給与規程の一部改定 4. 準職員就業規則の一部改定 5. 除草職群班運営規程新設 6. 名誉会長の選任 7. 就業に伴うセンター車両の運転許可 8. 事業実施状況報告 9. 予算執行状況報告 10. 事故発生状況報告
第1回臨時理事会 令和7年6月19日（木）	1. 会長の選定 2. 副会長の選定 3. 常務理事の選定
第3回 令和7年6月23日（月）	1. 正会員の入会 2. 委員会委員の承認 3. 就業に伴うセンター車両の運転許可 4. 事業実施状況報告 5. 予算執行状況報告 6. 事故発生状況報告
第4回 令和7年7月28日（月）	1. 正会員の入会 2. 未収金の貸倒処理 3. 委員会委員の承認 4. 事業実施状況報告 5. 予算執行状況報告 6. 事故発生状況報告
第5回 令和7年8月25日（月）	1. 正会員の入会 2. 令和7年度補正予算(第1号) 3. 委員会委員の承認 4. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 5. 事業執行状況報告 6. 予算執行状況報告 7. 事故発生状況報告

開催年月日	主な内容
第6回 令和7年9月22日（月）	1. 正会員の入会 2. 理事会運営規則一部改正 3. 職員就業規則一部改正 4. 準職員就業規則一部改正 5. 育児・介護休業等に関する規程一部改正 6. 育児・介護休業に関する労使協定一部改正 7. 職員の等級及び初任給に関する基準一部改正 8. 委員会委員の承認 9. 就業に伴うセンター車両の運転許可 10. 事業実施状況報告 11. 予算執行状況報告 12. 事故発生状況報告
第7回 令和7年10月27日（月）	1. 正会員の入会 2. シルバー人材センター利用規約新設 3. 会員業務就業規約新設 4. 事業実施状況報告 5. 予算執行状況報告 6. 事故発生状況報告 7. 屋外就業を内容とする契約における気象に関する 事故防止のための日野市と公益社団法人日野市シ ルバー人材センターとの協定書
第8回 令和7年11月25日（火）	1. 正会員の入会 2. 委員会委員の承認 3. 就業に伴うセンター車両の運転許可 4. 事業実施状況報告 5. 予算執行状況報告 6. 事故発生状況報告
第9回 令和7年12月22日（月）	1. 正会員の入会 2. 事故補充費の充当及び会員負担 3. 会員業務就業規約の一部改正 4. 職員給与規程の一部改正 5. 令和7年度補正予算(第2号) 6. 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 7. 事業執行状況報告 8. 予算執行状況報告 9. 事故発生状況報告

開催年月日	主な内容
第10回 令和8年1月26日（月）	1. 正会員の入会 2. 会長の選定 3. 副会長の選定 4. 事業執行状況報告 5. 予算執行状況報告 6. 事故発生状況報告
第11回 令和8年2月24日（火）	1. 正会員の入会 2. 地域班設置規程の一部改正 3. 公益充実資金等取扱規程の新設 4. 「妊娠・出産時の意向確認書」の新設 5. 委員会委員の承認 6. 就業に伴うセンター車両の運転許可 7. 事業実施状況報告 8. 予算執行状況報告 9. 事故発生状況報告
第12回 令和8年3月23日（月）	1. 正会員の入会 2. 令和7年度補正予算(第3号) 3. 公益充実資金の積立 4. 令和8年度契約金額及び配分金 5. 令和8年度事業計画及び令和8年度開始の日において 行う公益目的事業の種類又は内容 6. 令和8年度収支予算 7. 資金調達及び設備投資見込み 8. 役員賠償責任保険加入 9. 法人法第84条に定める取引の承認及び報告 10. 役員報酬の改定 11. 理事1名選任議案承認 12. 監事1名選任議案承認 13. 職員業績評価要綱の新設 14. 目標・自己申告実施要項の新設 15. 職員給与規程の一部改正 16. 職員の等級及び初任給に関する基準の一部改正 17. 職員の昇任に関する基準の一部改正 18. 委員会委員の承認 19. 就業に伴うセンター車両の運転許可 20. 事業実施状況報告 21. 予算執行状況報告 22. 事故発生状況報告

5 事故の発生状況

(1) 年度別事故発生件数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
傷害事故	13	14	16	9	13
賠償事故	2	9	7	2	5
計	15	23	23	11	18

(2) 傷害事故

発生日	就業中・途上別	性別	事 故 の 状 況	程度
4月14日	就業中	男性	レール門扉の施錠中、門がレールから脱線し、元に戻そうとした時、腰を痛めた。新鮮圧迫骨折。	通院
5月10日	帰路	男性	自転車で帰宅途中、縁石に乗り上げ転倒した。顔面打撲、左肋骨骨折、左脚損傷。	通院
5月21日	往路	男性	就業先に向かう際、自宅玄関階段で、1段飛ばして降りた時に転倒した。右膝骨折。	入院
8月7日	就業中	男性	ごみ置場を清掃中、ごみBOXを移動した時に金具に指を挟んだ。右指骨折。	通院
8月14日	就業中	女性	植栽の手入れ中、草を引き抜いた時に土が左目に入った。ウイルス性急性結膜炎。	通院
9月19日	就業中	男性	草刈り中、スズメ蜂に左足ふくらはぎを刺された。	通院
10月24日	帰路	男性	就業先からの帰り道、歩行中に雨で滑って転倒した。顔面流血、左足打撲。	通院
11月11日	就業中	男性	街路樹の剪定中、電気バサミで左中指先端部を損傷した。縫合手術。	入院
12月25日	就業中	女性	除草中、右目付近を虫に刺された。	通院
1月15日	就業中	男性	地上に置いた枝をチェーンソーで切断中、チェーンソーの刃がズレてしまい、左手薬指を切傷した。縫合手術。	通院
2月17日	就業中	男性	街路樹の剪定中、脚立から約2m落下し、後頭部、背中、腰を強打した。後頭部6カ所を縫合手術。	通院
2月18日	就業中	男性	配布の就業中、自転車に跨ったまま、Uターンをしようとしてバランスを崩し、額、右腕、右膝を強打した。	通院
3月22日	就業中	男性	倉庫テントから出た所で、近くに居た犬に、左足(膝上部)を噛みつかれ出血した。消毒及び破傷風の予防接種。	通院

(3)賠償事故

発生日	仕事の種類	性別	事 故 の 状 況	対応
6月4日	植木剪定	男性	植木の剪定中、枝が落下し照明器具を破損させてしまった。	シルバー賠償保険で対応
12月17日	除草	男性	集合住宅の広場で自走式の芝刈り機で作業中、石が1階ベランダの窓に飛び、窓を破損させてしまった。	シルバー賠償保険で対応